

第 52 回全日本大学駅伝 関西地区選考会開催のためのガイドライン
(新型コロナウイルス感染予防対策)

弊連盟では上記の大会において、公益財団法人日本陸上競技連盟の新型コロナウイルスの感染拡大防止のガイダンス、および運営協力をお願いしている一般財団法人兵庫陸上競技協会が主催する兵庫選手権で周知された資料等を参考に、下記の内容を作成しています。

安全、安心な大会運営を目指しますので遵守をお願いします。なお、守っていただけない場合は、参加(入場)を認めない、また参加(入場)していても競技場から退場していただくことがありますので、よろしくご理解、ご協力をお願いします。

【基本注意事項】

1. 無観客試合

- ・エントリー選手、競技役員、学生審判・補助員、チームスタッフ（監督、コーチ、マネージャー）のみ入場可能。チーム構成人数は最大 15 名【選手・補欠選手・チームスタッフ(監督・コーチ・マネージャー・トレーナー等)】とし、15 名を超える人数の競技場内立ち入りを禁止する。
- ・クラスター感染を防ぐために、参加大学は競技場内に入る者の名簿(別紙)を必ず代表者が提出すること。
- ・保護者、上記以外の大学関係者の応援は、感染症対策を講じて行うため入場できない。
- ・報道関係者は取材申請を事前に弊連盟行い、承諾された団体の方以外は認めない。

2. 応援の禁止

- ・チームスタッフが選手の指導等する場合は大声で行わない、また対人距離（ソーシャルディスタンス）を必ずとって行うこと。

3. 「3 密」の回避

- ・対人距離（ソーシャルディスタンス）を 2 m 以上確保すること。撮影などをする場合も同様の対応をとること。
- ・マスクの着用を徹底すること。（ただし、選手の競技中は除く）
- ・諸室は関係設備を運転し、窓・ドアを開放する。熱中症予防の観点から空調機等による温度調節を行う。

4. 感染症対策

- ・感染経路となりうる共有する物品やドアノブなど高頻度接触部位については、主催者において消毒するが、参加者各人が注意し、接触後の手洗いを徹底すること。
- ・競技者、審判員、その他全て入場者は、こまめに手洗い・消毒を行うこと。
なお、弊連盟は手洗い場にはハンドソープ（ポンプ式）を準備する。
- ・競技終了後は手洗い・消毒を行うこと。
- ・ハンカチやマイタオルを持参すること。

- ・感染が疑わしい競技者には、その場で検温を実施し状況により参加を許可しない。

【大会参加について】

1. エントリー選手、チームスタッフ、競技役員、学生審判・補助員は、所定の日程で検温を行い、「体調管理チェックシート」を提出すること。
2. エントリー選手、チームスタッフはウォーミングアップ開始にあわせて来場し、競技終了後は速やかに競技場を退出すること。
3. 下記に該当する場合は大会に参加（入場）を認めない。
 - ①「体調管理チェックシート」の提出がない
 - ②大会当日の検温で37.5度以上の発熱のある者、また風邪の症状では体調不良の者。
 - ③同居家族や知人、友人に感染が疑われる人がいる場合

【競技場への入場について】

1. エントリー選手、チームスタッフの入受付は正面玄関に限定する。
対人距離（ソーシャルディスタンス）2m以上の間隔を空けて検温まで待機すること。
2. エントリー選手、チームスタッフには検温後、IDを配布する。大会終了まで競技場内では、競技中以外は必ずつけておくこと。
3. 入場者は、国の接触確認アプリや兵庫県新型コロナ追跡システムへの登録を行うこと。
4. IDの無い者は競技場内への入場を認めない。

【招集所について】

1. 招集所では、代表者（1名）が出走選手のレーンナンバー、ナンバーカードを確認し、○付けを行い、出走選手はスタート前の現地コールのみとする。
2. 腰ナンバーカードは招集所にて代表者が受けとること（使い捨てで貼りつけ方式）。
3. 競技者係はフェイスシールドを着用する。

【現地コールについて】

1. スタート待機所はソーシャルディスタンスを確保できる広さを確保し、審判員はフェイスシールドを着用する。

【給水について】

1. 給水を実施する際は、競技開始前に手指を消毒し、マスク、フェイスシールド、手袋を着用して行う。
2. スポンジは使用しない。
3. 手渡しでの提供は行わない。
4. 出走選手同士の回し飲みは禁止する。

【記録について】

1. リザルトは記録掲示板に貼りですが、確認は大学スタッフ 1 名ですること。
2. 記録についての抗議は掲示板での発表を正式発表とし、そこから 30 分以内に行うこと。

【更衣室に関して】

1. 一度に多人数が使用しないように、張り紙及び監督者を置き、滞在時間は短時間となるよう指導を行う。一度に使用できる人数は 10 人までとする。
2. 換気扇を常に作動させ、窓の開放を行う。なお、シャワーの使用は禁止する。

【各大学の待機場所・集合について】

1. 各大学は正面スタンド上、割り振られた場所での待機のみとする。
2. 集団ミーティング等は、競技場内、競技場周辺等いかなる場所においても禁止する。

【その他】

1. 競技終了後、全ての箇所（机、いす、パソコンなど）を清掃、消毒を行う。
2. 競技終了後、全ての競技用機材の消毒を行う。
3. 競技開始前の審判打合わせは実施しない。
(伝達事項は HP または、役員室のホワイトボードに記載)
4. 参加者は大会後、症状が 4 日以上続く場合は、必ず最寄りの自治体の衛生部局と大会主催者（関西学連）に報告すること。
5. ゴミは各自ビニール袋に入れて持ち帰ること。競技場内全てのごみ箱は撤収する。
6. 集団練習はせず、2m 以上のソーシャルディスタンスを空けて練習を行うこと。
7. 怪我、病気の応急措置については検温を再度した上で医療従事者が対応を行うが、急病による発熱と感染症による発熱の区別がつかない場合には、その場にいる医療従事者と相談して対応を行う。